

GT セミナー2018 ドイツ環境視察ツアー②

第69号 2018年6月25日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談やご要望に応えるコンシェルジュがいるように、保育においても様々なご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=ミマモルジュとして、保育に関するご要望にお応えしていけるよう活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

ドイツ環境視察ツアー

1週間のドイツ視察を終え、第16回ドイツ環境視察ツアー使節団は無事日本に帰国しました。

幼稚園や学童など視察先の写真や藤森平司先生の解説付きで、見学先について一つ一つ説明が加えられています。

詳しくは、[臥竜塾ブログ](#)をどうぞ！

また、過去のドイツ研修の臥竜塾ブログに度々登場する「陶冶（とうや）プログラム」。

こちらは、日本でいうところの保育所保育指針のようなもの。簡単にまとめましたので、参考にして頂ければと思います。

バイエルン州 ミュンヘン 「陶冶プログラム」



陶冶プログラム



「陶冶保育プランの中心となる陶冶保育の6領域」

言語領域
数学の領域
科学技術の領域
メディア教育の領域
音楽教育の領域
身体表現・スポーツの領域

「バイエルン」には、具体的に子どもたちが学ぶべきことが領域として書かれ、保育所保育指針には、「教育に関わる領域は、保育士等が子どもの発達をとらえる視点として5つに区分されています。」

ドイツ研修から思うこと



視察先でのおもてなし



学童での様子

2013年、2014年とドイツ研修に参加させて頂きましたが、それでも欲張りなことに、機会があったらもう一回行ってみたい！と思ってしまうのがこのドイツ環境視察ツアーです。

毎年、GT保育環境セミナーの中でドイツ報告の時間があります。

その報告を聞く度に、いいなーと思うのですが、ただ現地へ行けなくても、藤森先生の臥竜塾ブログを読ませて頂いていると、現地報告が詳しくなされており、毎年ドイツを味わっている気持ちになります。

そして、私にとってドイツ研修は、保育の面白さや奥深さを知る機会となり、ターニングポイントにもなっているように感じています。

それは一緒にドイツへ視察に行った先生方との学び合いが深く、藤森先生から「笑顔の多いメンバーです」と言われ、帰国後4カ月後にはもう、同窓会を行い歴代の中で最速で行った代だとも言われました。

僅か1週間という期間ですが、その後同窓会が各代それぞれに行われ、その後の実践をお互いに情報交換できるのも、この研修の醍醐味でもあります。

昨年の8月には、これまでにドイツ研修に参加したメンバーが一同に介する、大規模同窓会も実施しました。

ドイツで学びたいことも人それぞれですが、それぞれに学びたいことがあるからこそ、またお互いの気づきに繋がることも感じます。

そして同時にドイツの保育環境を見ることで、日本の保育とは何なのかを考えることで、実践が深まっていくのかもしれないと感じました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

第66号

子どもに伝えていきたい暮らしの智慧

第67号

2018年度GTセミナー開幕直前

第68号

ドイツ環境視察ツアー2018①

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。